

(6) 簡易タンク貯蔵所構造設備明細書（危省令様式第4のへ）

記入例

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		運送業 (事業所敷地面積 235㎡)			
専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁		床	
		その他の壁		屋根	
	出入口	(しきい高さ cm)	その他		
タンクの構造、設備	形状	角型	寸法	幅 1,000mm 奥行 600mm 高さ 800mm	
	容量	500ℓ	材質、板厚	SS400・4.5mm	
	通気管	内径25mm×1	給油、注油設備	給油設備20ℓ/分×1	
タンクの固定方法		車止め			
採光、照明設備		なし			
換気、排気の設備		なし			
消火設備		第5種消火設備 1本			
工事請負者住所氏名		川越市〇〇町〇〇番地〇〇 川越工事㈱ 担当 〇〇 〇〇 電話〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇			

記入方法（簡易タンク貯蔵所 構造設備明細書）

欄	記入方法
事業の概要	当該簡易タンク貯蔵所の設置している事業所等の主たる事業の概要を記入すること。 なお、かっこ書きにより当該事業所の敷地面積を記入すること。
壁のうち「延焼のおそれのある外壁」	当該建築物の外壁のうち、建築基準法第2条第6号の規定に該当する部分がある場合に、当該外壁の構造を記入すること。 また、建築基準法における構造（「耐火構造」、「不燃材料」等）をかっこ書きで記入すること。
壁のうち「その他の壁」	当該建築物のうち、延焼のおそれのある外壁以外の外壁、仕切り壁等の構造及び建築基準法における構造も併せて記入すること。
床、屋根	当該部分の構造を記入すること。 なお、建築基準法における構造も併せて記入すること。
出入口	外壁部分にある出入口の材質（鉄製、アルミニウム製等）及び出入口の枠並びに建築基準法における耐火性能を記入すること。 当該建築物に設置したしきいの高さをかっこ書きで記入すること。
その他	当該建築物の建築面積を記入すること。
タンクの構造、設備「形状」	形状及び屋根形状により次に掲げる区分等により記入すること。 a 縦置円筒型（コーンルーフ）、 b 縦置円筒型（ドームルーフ） c 縦置円筒型（フローティング）、 d 縦置円筒型（インナーフローティング） e 横置円筒型、 f 角型
タンクの構造、設備「寸法」	次によること。 a 縦置円筒型タンクは、内径及び側板のトップアングルまでの高さを記入すること。 b 横置円筒型タンクは、内径、胴長（円筒部分の長さ）、鏡出及び全長を記入すること。 c 角型タンクは、縦、横及び高さを記入すること。
タンクの構造、設備「容量」	タンクの最大許可容量を記入すること。
タンクの構造、設備「材質、板厚」	タンクのそれぞれの部分の材質及び板厚を記入すること。ただし、材質については、JIS記号でも認められるものであること。
タンクの構造、設備「通気管」	当該簡易タンク貯蔵所の通気管の構造等を記入すること。
タンクの構造、設備「給油、注油設備」	当該簡易タンク貯蔵所に設置する給油又は注油設備の概要及び動力源について記入すること。
タンクの固定方法	当該簡易タンク貯蔵所の固定方法の概要を記入すること。
採光、照明設備	設置した採光及び照明設備の種類等概要を記入すること。
換気、排気の設備	当該簡易タンク貯蔵所において、窓の開閉又は上部に設置された換気扇のみ等自然換気又は排出の場合は「自然換気」と、可燃性蒸気等が滞留するおそれのある場所のみを強制換気又は排出を行っている場合は、「一部強制換気」と、全体を強制換気又は排出を行っている場合は、「強制換気」を記入すること。
消火設備	危政令別表第5の消火設備の区分のうち、当該簡易タンク貯蔵所に設置したものを記入すること。ただし、当該簡易タンク貯蔵所の一部に設置したものについては、その部分をかっこ書きで記入すること。
工事請負者住所氏名	設置者等から工事を請け負った法人の名称及び住所並びに当該法人における当該工事の責任者の氏名、電話番号を記入すること。

